

平成28年12月11(日)
午前10時から午後2時まで
四谷の千枚田「ふれあい広場」

収穫感謝祭

みんなで感動!

さあ〜つかまい!
感謝を込めて、餅つきを!

鞍掛山麓千枚田保存会

共催:千枚田売店の会「棚田っ娘」
:ふるさと指導員

四谷の

千枚田だより



第159号



千枚田に行くには迂回路があり、二十人前後のマイクロバスは通行できます。なお、通行可能な日もありませんから工事規制看板に従ってください。

また、仏坂トンネル手前が崩落し、同三月十七日までは神田、東栄方面へは昼夜全面通行止めになっております。

視察・見学者対応アラカルト
(舞)は結構な頻度で視察・見学対応が依頼されている。多忙にも拘わらず、表す面ニコニコとつくり笑顔

まわり道 2.2km

この先工事中の為、まわり道①~⑤をおまわりください
通行止期間 平成28年10月24日~平成29年3月17日
時間帯 9:00~17:00



連絡先 愛知県新城設楽建設事務所 維持管理課
電話 0536-23-8691

通行止

旧連谷小学校近くの県道法面工事のため、平成二十九年三月十七日まで通行止となります。

で対応しているが、訪れる側ではない気なもので、案内されると実状がよく解るなどと喜こんどる。早朝や夜中ならともかく、お昼のまんま(食事)前か、まんまの後によく頼まれる。

貧乏人で、働かにはあ喰えん吾が身に、午前中だと仕事を休まにやあならんし、午後だと時間に合わせて勤めの豊川からすつ飛んで帰って来にやあならんし、考えてみると、何でこんなトロい事を飽きもせんで、せにやあならんかと・・・まだ、真面目に話を聞いてくれりやあ、我慢もできるが、バスから降りると「うわっ凄いと勝手に明しておる耳元でワイワイガヤガヤ勝手に評論が始まる。かえって、保育園児のほう聞き分けもいし、真面目だと、我慢せにやあならん時もしばしばある。

見学(視察)者には、まず、来た目的は必ず聞き、それに見合った説明をする。その後、質問への回答と、その順を基本としている。熱心な見学者には、こちらからも色々とお聞きし、勉強させてもらうことも多々ある。

視察二題

◇十月二十三日、遠州森町産業農業課振興係から新城市鳳来総合支所地域整備課を通し、地域おこしに情熱を持つ住民二十七名が役場職員



視察目的は中山間の抱える課題や問題点などを模索するため、勢いのみえる「四谷の千枚田」を先進地視察に選定したそうである。住民らは棚田保全対策、村おこし等々、

考にできれば。と訪れた。
(舜)は「四谷の千枚田」を二十六

年間に、「地域の宝」と位置付け、保存継承活動に耕作者、地域住民共々頑張り、やつとここまで辿り着いた苦労などを混えながら説いた。地域おこしの原点は地域の宝、何処でもある宝を活かすことが大事である。遠州森町は「森の石松、茶の香り」で知名度も高い、これを宝として都市住民が「癒し」を求めて訪れる環境を創れば村の活性化に繋がるであらう。と助言した。

◇十一月二日、掛川市からエコロジーライフ研究会く自然と共生する



有機農業による「安心安全な食」と「自然豊かなエコロジーな暮らし」の構築を図り、環境型社会の創造に

寄与する」を掲げた会員二十五名が無農薬農法の先駆者で知られる新城の福津農園を視察の後、千枚田を訪れた。



当地を選んだ一つとして環境農法「生きものと共生した身体に優しいコメ作りの実践」。優れた棚田の

保全管理。また、景観・環境に配慮した地元の活動など、知名度の高い地域であることから、どうしても一度訪れたい・・・であり、環境、自然再生はお手のものと、話が弾んだ。

千枚田生産物の出荷

十月二十九・三十日、(株)丸八製菓(八雲だんご)古米の出荷

同社は平成二十六年から四谷の千枚田の古米で五平餅をつくり郵便局の季節限定の「四谷の千枚田五平餅」として宅配、また、道の駅「もつくる」や新東名サービステリアなどで好評に販売されている。十一月九日、横浜ゴム新城工場は毎年、千枚田の稲わらを買って頂き、広葉樹の育苗などの敷藁として活用されている。

同社で育てた樹木は環境活動推進事業に供与されたり、東北震災地の防潮林造成に社の環境貢献責務の一環として寄与している。

身近な予定

◇十一月二十日(日)、連谷ウォーキング 午前 連谷地名考・四谷の千枚田と環境 午後 グランドゴルフ

◇十一月二十三日、一宮砥鹿神社祈禱 丸八だんご鈴木社長・小笠原米穀店・(舜)

◇十二月六日、愛知県ふるさと水と土指導員会議 【会場】身平橋集会所・現地視察 水力発電「でんでんちゃん」

◇十二月十一日(日) 収穫感謝祭

行 平成二十八年十一月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山 舜二